

(越谷の市章)

市役所新庁舎完成特集号



市民サービス向上を

めざした新庁舎

十一万市民の皆さんが、長らく待ち望んでいた市役所新庁舎が、昭和四十二年十二月二十一日の起工以来一年四か月めの三月三十一日に完成しました。

この建物は、現在の福祉会館の北側に位置し、葛西用水のほとりに、地下一階地上五階、塔屋部分三階で地上からの高さ三〇・五七メートル、床面積の合計は九七七二平方メートル、建物のまわりは暗褐色の美しいタイルで装ったデラックス庁舎で、県下でも有数の偉容を誇っています。

この新庁舎には、四月十二・十三日の二日間に、移転を終らせて、四月十四日から、執務をはじめます。庁舎の特長としては、一階の部分に、特に広い場所をとって、窓口に来た市民の皆さんが、自分の思った用件を、スムーズにたして、しかも少しの待ち時間も、快適な気持ちでいられることを考えてつくられました。

いままでの市役所は非常にせまかったため、あちこちに分室や、第二庁舎をつくって、まにあわせていました。が、このため直接市役所に用をたしにくる皆さんには、非常に不便をかけていました。この新庁舎が完成したことによってほとんどの市の機関は、この庁舎に統合されました。

そして、特に窓口事務の一本化を目ざして、市民課の窓口を充実して、事務の効率化と、市民サービスの向上につとめました。

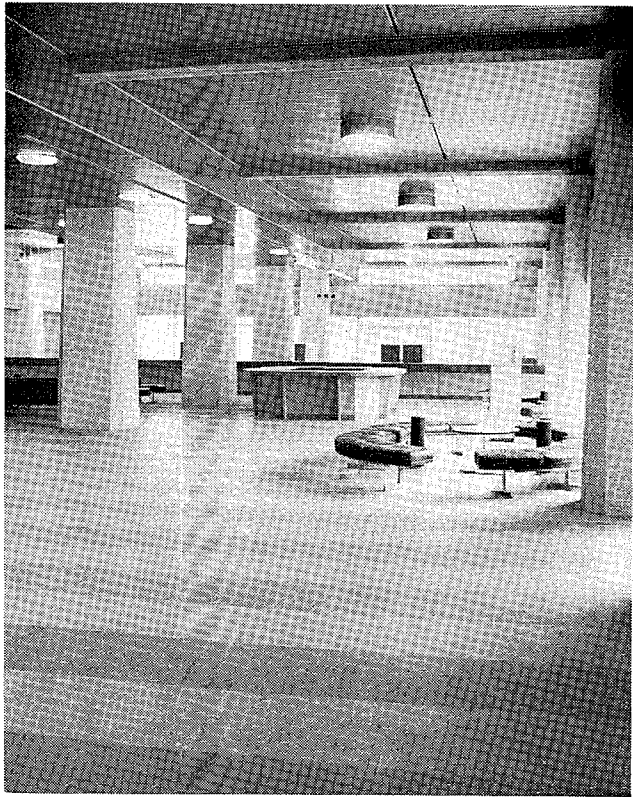
新庁舎の屋上には、四方に時計台があつて、電波時計によって、常に時報にあわせて、正しい時をききみはじめています。

また、この時計台からは毎日朝六時と正午、夜九時の三回美しいメロディーのチャイムが鳴って、市役所から二キロメートルのところまでの皆さんまで聞こえるようになっており、これを聞く皆さんに、希望と、やすらぎの気持ちを起こさせることと期待されます。

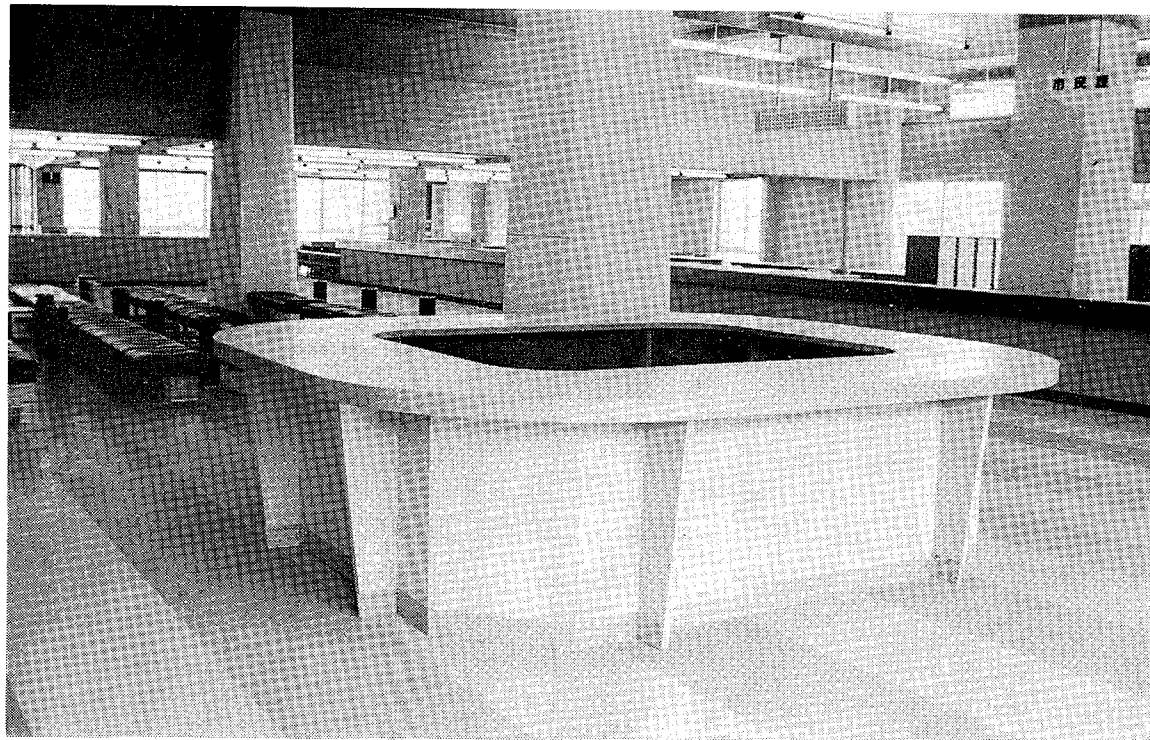
市役所は、単に大きな新庁舎を作ったということにとどまらず、市民の皆さんへのサービスセンターとして、ことしの一月から発足した、新しい行政機構とともに、すべての市民に、ゆきとどいたサービスをするために、これからさらに努力をつづけていきます。

新庁舎は、全館に冷暖房が完備していて、各階への昇り降り階段のほか、エレベーターが二台ついており、また湯のみ所、水のみ器などの設備が一階ホールに設けられて、市民の皆さんのお出でをお待ちしております。

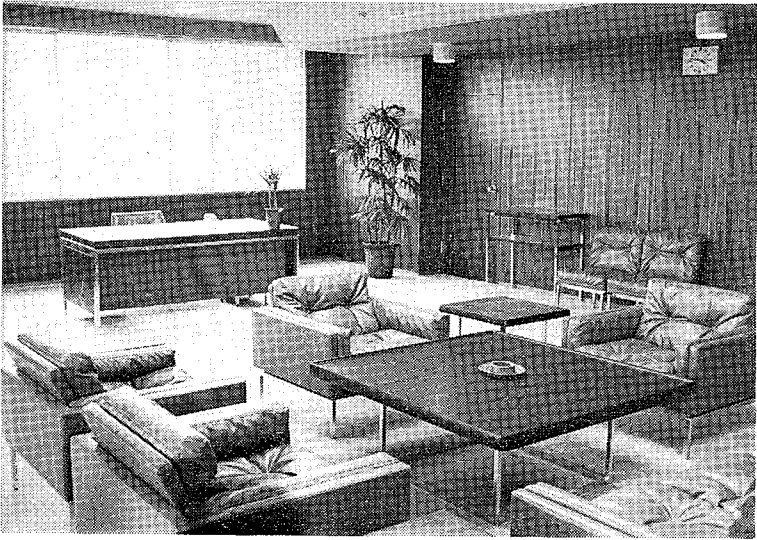
これだけの立派な建物を市の財産として、市民の皆さんと共にあすの美しい魅力ある越谷市をつくりあげるために、大いに努力をしようではありませんか。



ホ
ー
ル
(1階)

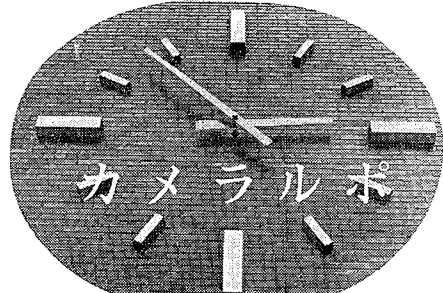


総合記載指導台(1階)

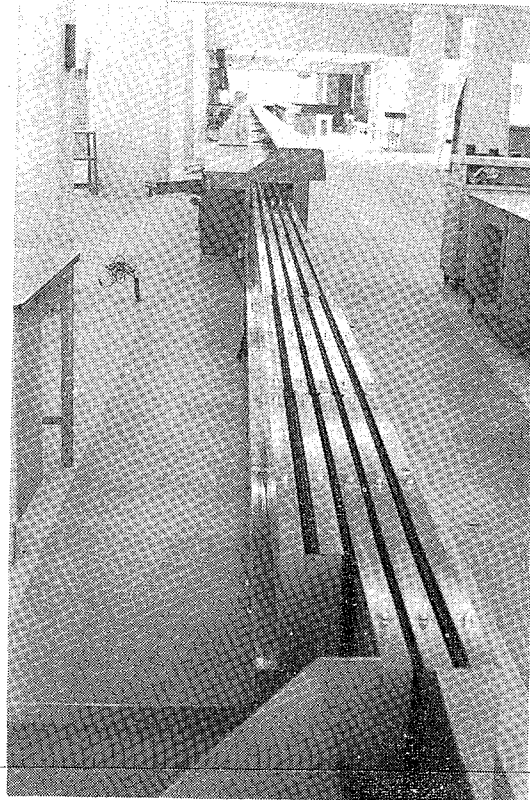


市長室(2階)

懸案だった市役所新庁舎がこのほど完成し、十四日から執務を開始します。今まで第二庁舎や分室に分かれていたため、市民の方々にいろいろと迷惑をおかけしておりました。そこで、庁舎完成を契機に市民の窓口サービスや事務効率の向上をより一層図るためにホール中央に記載台をつくり、職



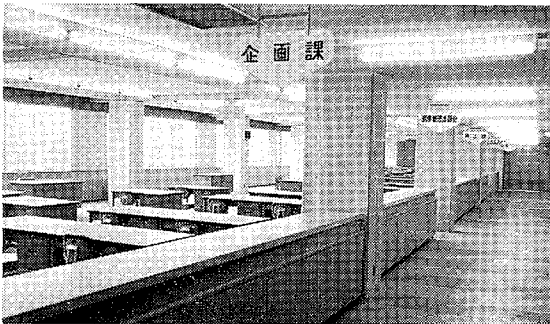
員二人が申請書の書き方を指導し、またベルトコンベヤーによる事務のスピード化を図るなど、いろいろ工夫されています。そして、五階には、議事会での審議がわかる傍聴席を設けてあります。このように、市民のための庁舎として、市民サービスにつとめてまいります。



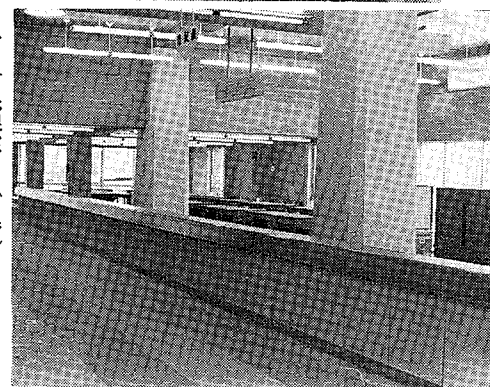
ベルトコンベヤー(1階)



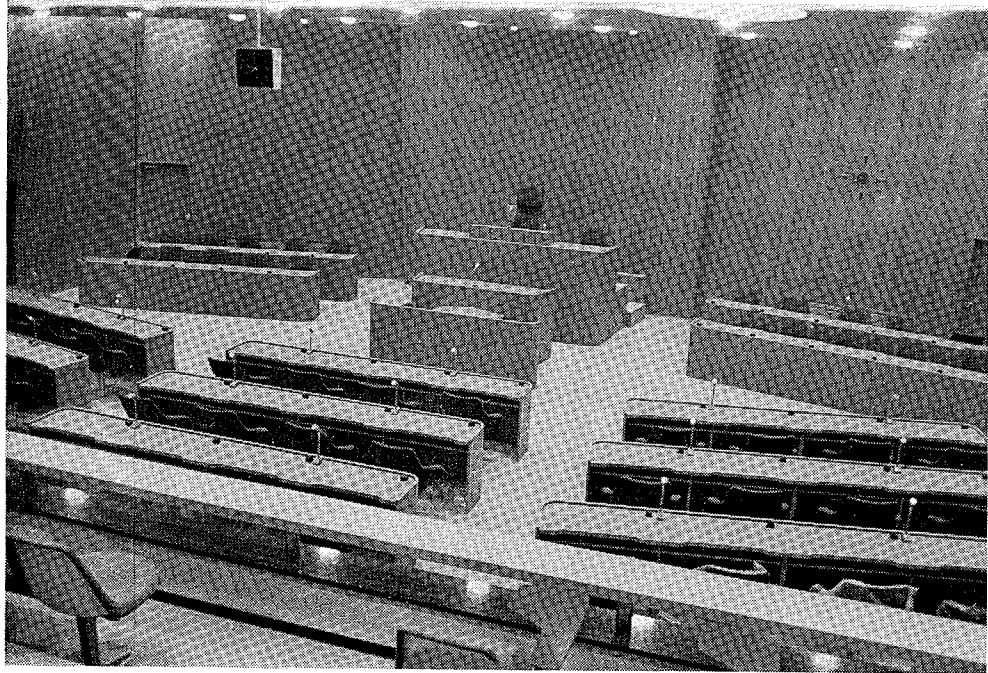
正副議長室(4階)



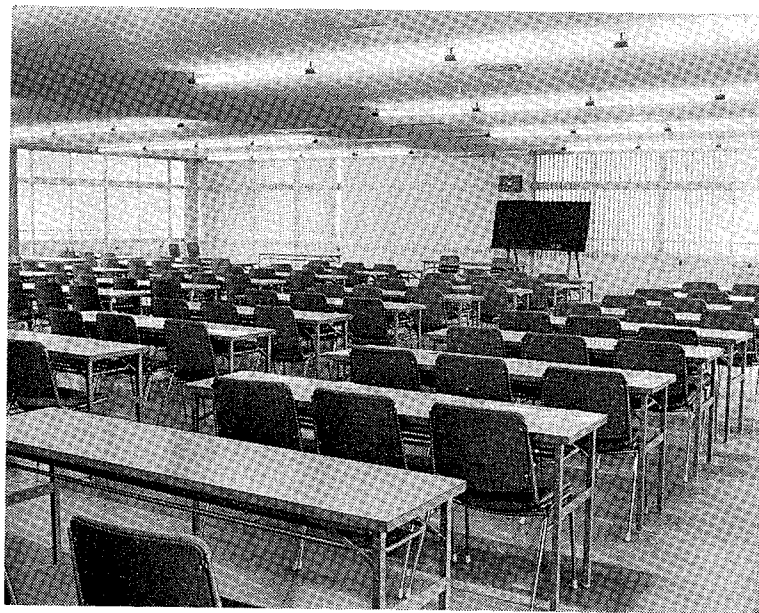
事務室(2階)



市民課窓口(1階)



議場(4階)



大会議室(5階)

広報こしがや

市役所新庁舎完成特集号

昭和三十二年八月五日第三種郵便物認可

埼玉県越谷市役所発行

越谷市越谷二丁目一番一号 電話(〇四八九) 第三四八号

昭和四十四年四月十日 編集 行政課 広報係 343